

KEEP on T.R.Y

社長の今月お伝えしたいこと

VOL62

2023年5月

この3 か月はあっという間に時間が経過していきました。

1 つは「住宅省エネ 2023 キャンペーン」への対応と、もう 1 つは youtube「窓景」の配信です。今回の補助事業は窓リフォームを対象とするもので、その補助額も史上最大のものです。そのため、全国で内窓の注文が殺到し、弊社も内窓のご依頼を多く頂き、ありがとうございます。しかし、受注過多による納期遅延で、お客様にご迷惑をおかけしているのも事実です。現時点においても内窓納期は約 3 か月と、未だ経験したことのない納期遅延が発生しています。また、補助金も昨年同様に期限を待たずしての早期終了が予想されています。

私がこの事業に際し、お客様にお話していることは、窓による断熱の目的です。

多くの方が「内窓を設置さえすれば、断熱ガラスに取り替えれば暖房はいらない」と言われます。違います。窓の断熱とは、外気温を伝えにくくし、室内の温度を逃がさないことです。ですから冷暖房のご使用は不可欠です。ただし、ポイントとなるのが使用時間です。冷暖房効率をあげ、使用時間が短時間で済むというのが、窓断熱の役割です。

今夏も酷暑が予想されるため、冷房は必須です。

しかし、使用時間を短くし、高騰する電気料金を節約、さらにはCO2の排出を抑えること、そのための補助金です。内窓や断熱窓、断熱ガラスをお取り替えの方は、ぜひその効果をご実感ください。

ところで、照明の色を変えるだけで体感温度が 2 度異なるのはご存じですか。

これは「クロスモーダル効果」と呼ばれ、例えば青色系の照明色だと涼しく感じ、暖色系の照明色は暖かく感じる。脳がだまされるそうです(笑)。

昨今ではこの効果を使用した商品開発が行われています。ぜひお試しください(笑)。

ただし、夕方以降の照明色は暖色系にしましょう。これは睡眠導入のためにも必要なことです。

健康 = 断熱 × 照明 × 睡眠。 私が大切にしているリフォームコンセプトです。

健康は掛け算です。どれが欠けても成り立ちません。

逆に防犯は足し算です。それぞれの長所をさらに引き立たせ、目的を達成します。

Youtube の最終テーマは「暮らし」。 そのために様々な方向からテーマを選び、お話をしています。

リフォームをご検討される場合、ご参考いただければ幸いです。

大谷選手と睡眠

先日の WBC で私たちは多くの感動をもらいました。中でも大谷翔平選手の活躍は素晴らしかったですね。大谷選手が「睡眠」を大切にしていることは公然の事実となつていますが、大谷選手だけでなく、私たちに夢や感動を与えてくれる一流のアスリートたちは、皆一様に「睡眠」を大切にしていると聞きます。

なぜ彼らは睡眠を大切にしているのでしょうか。

私たちは睡眠により、身体を休め、疲労を回復し、そして記憶を作ります。睡眠は記憶を作るためには必須なのです。

しかし、ただ眠るのではなく、質の良い睡眠が大切です。

質の良い睡眠とは、朝すっきりと目が覚め、昼間に極度の睡魔に襲われることなく、元気に活動できること。

質の良い睡眠に必要なものは「時間」と「環境」、「規則正しい生活スタイル」です。

アメリカの移動時間は長く、生活のリズムを崩しがちですが、大谷選手は移動中、「時間」を確保するためずっと寝ています。大谷選手の判断力は、まさしく睡眠による記憶力の賜物です。1球1球に判断をし、行動に起こすには、心身の回復だけでなく、記憶力が大きく影響しています。

よい判断力のためにも「質の良い睡眠」をとりましょう。

睡眠健康指導士として、そのための睡眠環境をご提案します。



節電の夏

この1年は値上げの連続でした。

中でも私たちの生活に直結する光熱費が、それ以前より年々値上がりしています。

今年の夏は昨年ほどの猛暑ではないと言われていますが暑いことに変わりはありません。

「命を守るためにクーラーを使用しましょう」

連日呼びかけられた今年の夏。

その反面、値上がりの一途をたどる電気料金。

どこで折り合いをつければいいのでしょうか。

光熱費をゼロにすることはできません。

しかし、少しだけ削減できる方法があります。

その手段がとって行われているのが窓への補助金です。

防犯は足し算と言いましたが、省エネも足し算です。

少しずつの積み重ねが節電につながり、延いては地球環境の保護につながる。それがSDGsでもあります。

私たちの生活を守る窓。古より外敵から身を守り、夏は暑さを、冬は寒さをしのぐための窓。

「窓+アルファ」でさらに節電効果をあげるため5月のイベントではその手段をご紹介します。



〇〇周年

今年は仮面ライダー50周年ということで、映画「シン・仮面ライダー」が製作・封切され私も初日に観に行きました(笑)。

考えると「ウルトラマンエース 50周年」「マジンガーZ50周年」「デビルマン 50周年」と私が幼少期に心躍らせた番組が次々に周年を迎えています。

しかし私自身、周年という筋目が好きです。

筋目なんですね。すべてが。改めてルーツを思い出し、懐古ではなく、初心に戻る。

その繰り返しが人生の軌跡だと思うのです。 と言いながら、周年グッズを買いあさる今日この頃です。

